

第2回 **PLAY+STAY** 導入状況調査 報告書

2013年7月－8月



公益社団法人 **日本テニス事業協会**

アンケート回答者について

都道府県別 回答事業所数(※本社一括含む)					
地域	総数	内訳／導入済	／用具のみ	／予定あり	／未定・無
北海道	2		1		1
岩手県	1		1		
宮城県	1			1(2014/4～)	
埼玉県	11	10	1		
千葉県	14	14			
東京都	36	29	3	1(2013/10～)	3
神奈川県	18	16	2		
新潟県	1	1			
富山県	1	1			
愛知県	3	2		1(2013/10～)	
三重県	2		2		
京都府	2	2			
大阪府	4	2	2		
兵庫県	10	9	1		
奈良県	2	2			
広島県	1		1		
徳島県	1	1			
愛媛県	1	1			
福岡県	2				2
合計	113	／90	／14	／3	／6

回答者 役職名	
代表者	5
支配人・マネージャー	41
ヘッドコーチ	34
ジュニアヘッドコーチ	4
コーチ	20
その他・無記入	9
合計	113



※本社一括回答は東京都・愛知県の各1社

ITF(国際テニス連盟)とJTAが推奨するPLAY+STAYについてお伺いいたします。

回答事業所数 113

①PLAY+STAYの各種情報は貴方のもとに適切に届いていますか？

はい	94人
わからない	17人
いいえ	2人

②PLAY+STAYの指導方法について、主旨・内容を詳しく理解していますか？

はい	101人
わからない	8人
いいえ	4人

③PLAY+STAYの指導方法について良い方法であると思いますか？

はい	98人
わからない	15人
いいえ	0人

④PLAY+STAYの指導方法はテニスの普及に繋がるものと考えますか？

はい	100人
わからない	13人
いいえ	0人

JTAカンファレンスに参加されましたか？

回答事業所数 113

※同一人複数回参加あり

回答者本人が参加	
2010年	13
2011年	14
2012年	16
2013年	16

事業所内の回答者以外の人が参加	
2010年	14
2011年	18
2012年	25
2013年	18

地域テニス協会が開催するPLAY+STAYの説明会・講習会などに参加されましたか？

【回答者本人の参加状況】

参加開始時期の内訳	人数	回数
2010年 2月頃より	1 人	1 回
3月頃より	1 人	4 回
10月頃より	1 人	2 回
2011年 月不明	1 人	2 回
3月頃より	1 人	2 回
4月頃より	1 人	3 回
11月頃より	1 人	1 回
2012年 月不明	2 人	2 回
1月頃より	1 人	4 回
6月頃より	1 人	1 回
2013年 月不明	1 人	2 回
3月頃より	1 人	1 回
4月頃より	1 人	1 回
年月不明	1 人	1 回
【合計】	15 <small>(113人中)</small> 人	27 回

【事業所内スタッフの参加状況】

参加開始時期の内訳	事業所数	回数	人数
2008年 4月頃より	1 ケ所	1 回	6 人
2010年 月不明	4 ケ所	8 回	14 人
3月頃より	1 ケ所	5 回	10 人
2011年 月不明	2 ケ所	6 回	8 人
3月頃より	1 ケ所	2 回	4 人
4月頃より	1 ケ所	2 回	6 人
2012年 月不明	2 ケ所	5 回	7 人
4月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
6月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
8月頃より	1 ケ所	2 回	4 人
2013年 2月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
4月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
年月不明	1 ケ所	1 回	1 人
【合計】	18 <small>(113ヶ所中)</small> ケ所	36 回	64 人

都道府県テニス協会が開催するPLAY+STAYの説明会・講習会などに参加されましたか？

【回答者本人の参加状況】

参加開始時期の内訳	人数	回数
2009年 月不明	1 人	2 回
2010年10月頃より	2 人	5 回
2011年 月不明	1 人	2 回
12月頃より	1 人	1 回
2012年 月不明	1 人	1 回
1月頃より	1 人	2 回
4月頃より	1 人	1 回
年月不明	2 人	2 回
【合計】	10 <small>(113人中)</small> 人	16 回

【事業所内スタッフの参加状況】

参加開始時期の内訳	事業所数	回数	人数
2009年 10月頃より	1 ケ所	4 回	4 人
2012年 月不明	1 ケ所	2 回	2 人
7月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
2013年 1月頃より	1 ケ所	1 回	2 人
年月不明	3 ケ所	3 回	5 人
【合計】	7 <small>(113ヶ所中)</small> ケ所	11 回	14 人

市区町村テニス協会が開催するPLAY+STAYの説明会・講習会などに参加されましたか？

【回答者本人の参加状況】

参加開始時期の内訳	人数	回数
2012年 月不明	1 人	1 回
【合計】	1 <small>(113人中)</small> 人	1 回

【事業所内スタッフの参加状況】

参加開始時期の内訳	事業所数	回数	人数
2012年 月不明	1 ケ所	1 回	1 人
【合計】	1 <small>(113ヶ所中)</small> ケ所	1 回	1 人

テニスメーカーなどが開催するPLAY+STAYの説明会・講習会などに参加されましたか？

【回答者本人の参加状況】

参加開始時期の内訳	人数	回数
2010年 月不明	1 人	3 回
6月頃より	1 人	5 回
2011年 3月頃より	1 人	1 回
4月頃より	1 人	1 回
2012年 月不明	4 人	6 回
1月頃より	2 人	5 回
2月頃より	1 人	1 回
4月頃より	1 人	1 回
7月頃より	1 人	1 回
8月頃より	1 人	1 回
10月頃より	1 人	1 回
2013年 1月頃より	1 人	1 回
2月頃より	1 人	1 回
3月頃より	1 人	1 回
8月頃より	1 人	1 回
年月不明	1 人	3 回
【合計】	20 <small>(113人中)</small> 人	33 回

【事業所内スタッフの参加状況】

参加開始時期の内訳	事業所数	回数	人数
2011年 月不明	1 ケ所	3 回	20 人
2011年 4月頃より	2 ケ所	3 回	5 人
9月頃より	1 ケ所	1 回	4 人
2012年 月不明	3 ケ所	3 回	32 人
1月頃より	1 ケ所	3 回	2 人
6月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
7月頃より	2 ケ所	2 回	3 人
8月頃より	2 ケ所	3 回	11 人
10月頃より	1 ケ所	1 回	8 人
2013年 月不明	1 ケ所	2 回	1 人
1月頃より	1 ケ所	1 回	1 人
年月不明	2 ケ所	2 回	6 人
【合計】	18 <small>(113ヶ所中)</small> ケ所	25 回	94 人

日本テニス事業協会が開催するPLAY+STAYの説明会・講習会などに参加されましたか？

【回答者本人の参加状況】

参加開始時期の内訳	人数	回数
2010年 月不明	1 人	4 回
10月頃より	1 人	2 回
11月頃より	1 人	3 回
2011年 月不明	2 人	4 回
4月頃より	1 人	4 回
5月頃より	1 人	1 回
10月頃より	2 人	7 回
2012年 月不明	3 人	12 回
1月頃より	2 人	7 回
2月頃より	1 人	2 回
3月頃より	1 人	3 回
4月頃より	4 人	9 回
5月頃より	7 人	23 回
6月頃より	1 人	2 回
7月頃より	2 人	6 回
8月頃より	1 人	1 回
9月頃より	1 人	1 回
10月頃より	2 人	5 回
12月頃より	3 人	6 回
2013年 月不明	1 人	1 回
1月頃より	1 人	1 回
4月頃より	2 人	2 回
4月頃より	2 人	2 回
年月不明	1 人	1 回
【合計】	44 人 <small>(113人中)</small>	109 回

【事業所内スタッフの参加状況】

参加開始時期の内訳	事業所数	回数	人数
2010年 4月頃より	1 ケ所	3 回	3 人
11月頃より	1 ケ所	1 回	30 人
2011年 月不明	2 ケ所	5 回	6 人
4月頃より	1 ケ所	4 回	5 人
6月頃より	1 ケ所	2 回	1 人
10月頃より	1 ケ所	2 回	6 人
2012年 月不明	2 ケ所	5 回	8 人
1月頃より	1 ケ所	2 回	2 人
3月頃より	1 ケ所	2 回	2 人
4月頃より	3 ケ所	9 回	4 人
5月頃より	8 ケ所	34 回	24 人
6月頃より	1 ケ所	1 回	2 人
8月頃より	2 ケ所	2 回	5 人
9月頃より	1 ケ所	1 回	3 人
10月頃より	1 ケ所	3 回	1 人
2013年 月不明	1 ケ所	1 回	2 人
1月頃より	2 ケ所	4 回	6 人
2月頃より	1 ケ所	2 回	4 人
4月頃より	2 ケ所	2 回	3 人
6月頃より	2 ケ所	2 回	2 人
年月不明	1 ケ所	1 回	2 人
【合計】	36 ケ所 <small>(113ヶ所中)</small>	88 回	121 人

PLAY+STAYの導入時期について

① PLAY&STAY用ラケット・ボールの取扱開始時期または予定時期はいつ頃からですか？

開始(予定)時期の内訳	事業所数	
2006年以前	6	ヶ所
2007年～	1	ヶ所
2008年～	1	ヶ所
2009年～	5	ヶ所
2010年春	11	ヶ所
2010年秋	2	ヶ所
2011年春	18	ヶ所
2011年夏	5	ヶ所
2011年秋	5	ヶ所
2012年春	9	ヶ所
2012年夏	7	ヶ所
2012年秋	7	ヶ所
2012年冬	7	ヶ所
2013年春	15	ヶ所
2013年夏	2	ヶ所
不明	6	ヶ所
検討中	2	ヶ所
【合計】 (113ヶ所中)	109	ヶ所

② PLAY&STAYの主旨に添った指導法を導入した時期または予定時期はいつ頃からですか？

開始(予定)時期の内訳	事業所数	
2007年以前	4	ヶ所
2008年～	2	ヶ所
2009年～	2	ヶ所
2010年春	4	ヶ所
2010年秋	3	ヶ所
2011年春	13	ヶ所
2011年夏	3	ヶ所
2011年秋	8	ヶ所
2012年春	12	ヶ所
2012年夏	4	ヶ所
2012年秋	6	ヶ所
2012年冬	7	ヶ所
2013年春	20	ヶ所
2013年夏	2	ヶ所
2013年秋予定	2	ヶ所
2014年春予定	2	ヶ所
不明	1	ヶ所
検討中	1	ヶ所
【合計】 (113ヶ所中)	96	ヶ所

③ PLAY&STAYの趣旨に添った導入は事業所全体での取り組みですか？

事業所全体	コーチ個人
94	6

※事業所で導入していないがコーチ個人で行っている事業所があるため導入事業所数と差異あり

PLAY+STAYの導入時期について

④ PLAY&STAYの用具は使用しているが、 主旨に添った指導法は導入していない！

事業所数	
29	ヶ所

【理由】

- ボールのみ導入。(7)
- 指導内容の理解・研修が不十分なため本格導入にふみきれない。(4)
- 球出し練習等でのフォーム形成もレッスンに取り入れているから。(4)
- コート面数や生徒数によりクラスを細分化できないため。(3)
- すべての指導法は導入していないが一部(コートを小さくしたり)は導入している。
- まずは社員が研修などを経て主旨等把握し、さらに実際にレッスンに指導法のテスト期間を経てから導入したいから。
- レッスンとしての指導量が減ってしまっている感じがする。(60分レッスンの為)
- 競技思考性が低いスクールのため。
- 上達が？だから。
- 自スクールオリジナルレッスンとPLAY&STAYをミックスしているから。
- ショートテニスを実施しているため。
- 保護者が見て納得いく形にする方が集客につながると考えているため。
- 技術的なアドバイスが殆どないため保護者からはもっと教えて欲しいとの要望が増える恐れがあるため。
- 年齢によるレベル、ボールの種類分けによるクラス設定は行っていない。
- ジュニア育成クラスがほとんどない。
- システム的なことやハード面などで現状はスムーズな指導が行えないと考えているため。
- グリーンボールの使用は2009年からだがそれ以前にスポンジボールやオレンジボールでラリーとゲームを主体にレッスンをしていたので改めてPLAY&STAYを導入していない。

⑤ PLAY&STAYに関しては一切導入していない！

事業所数	
5	ヶ所

【理由】

- 当スクールでは大人は初心者が少数、低学年も少数だから。今後変化があれば対応しようと思っている。
- まだ勉強不足のため導入できていない。
- ショートテニスを実施しているため。
- 会員制クラブであり特に導入の必要性がないため。
- 一般ジュニアは導入について検討中。

PLAY+STAYに関するスタッフの研修状況(社内、社外)などについてご記入ください。

■社外研修

- 社外研修に参加。(12)
- 日本テニス事業協会のコーチステップアップアカデミーに参加。(10)
- 日本テニス協会の講習会に参加。(8)
- 他スクールに見学に行った。(※TTC以外)(3)
- 埼玉県テニス事業協会の講習会を開催、参加。
- 各コーチ契約メーカー主催の講習会に参加。

■社内研修

- 講習・研修をしている。(42)
- 講習に参加したスタッフによる研修発表、報告、情報の共有、意識の統一化。(23)
- TTCから講師に来てもらい(または見学)研修を実施。(16)
- スタッフ間でより良いPLAY+STAYレッスンを話し合っテドリルを考案している。(10)
- 外部講師を招き講習会を開催。(7)
- コーチへの個別指導・研修を随時実施。(6)
- PLAY+STAYプロジェクトチームを社内で発足。(3)
- マニュアルを作成。(2)
- スタッフ(コーチ・フロント)の体験会を実施。(2)
- 神谷勝則プロ・山本育史プロに来てもらい研修を実施。
- 神谷勝則プロの「テニス練習メニュー200」を購入し、スタッフにも読んでもらった。
- PLAY+STAY教本を購入し、スタッフ全員が読める状況にしている。
- 日本テニス協会より講師を招き説明・指導を受けた。
- LTAのマックス・デ・ヴァイル氏・ピオートル・ウニエルジスキー氏を招いた科学セミナーを全スタッフが受講。
- 研修は行っていない。(7)
- 担当コーチが勉強しながらやっている。(3)
- (PLAY+STAYを行っているまたは事業所に)コーチが自分だけなので研修会はない。(2)

PLAY&STAYを導入したことにより見えてきた課題・問題点などー①

■研修の必要性・知識不足について

- コーチの知識の差によってレッスンに差が出やすい。(17)
- 出来る子と出来ない子がいるクラスでのコーチの力量。(7)
- ゲームベースとテクニックベースの融合が難しい。(5)
- スクール全体で普及させるための研修体制の強化が必要。(5)
- ティーチングとコーチングの使い分け・バランスが難しい。(4)
- スタッフ(アルバイト)が正しくPLAY+STAYを理解できていない。(3)
- PLAY&STAY=打たせるだけと勘違いするコーチも見られる。(3)
- フォームや打ち方の指導をしたいと思ってしまう。(3)
- 「できる限り教えない」はティーチングはだめだと勘違いをする可能性があると思う。(2)
- どのようにすれば子どもたちが自ら考えトライする環境をコーチが作り出せるかを研修していく必要を感じる。(2)
- ラリーを楽ませるところからどこまでまともな打ち方を教えていくのか？各クラスや個々の成長度から見出すのが難しい。(2)
- ある程度レッスンの内容を決めて、アドバイスする点も「この練習時はここをチェックする」等を具体的に決めてレッスンを行う。
- しっかりマニュアルを作ることが大事。
- コーチ個々のテニスレベル、レッスンレベル向上が大きく求められる。
- ゲーム・ベースト・アプローチの理解度が低い。
- コーチの動きが少なく、何もしていないように見える(見栄えが悪い)。
- ベテランコーチの意識改革。
- 特に決まった教え方があるわけではないので、どのようにスキルアップしていくか検討が必要。
- スタッフ全員が相当勉強していないと完璧には導入できないと感じる。
- 用具は使用しているが、主旨に添った指導法は実践できないスタッフもいる。
- 子どもたちをどのレベルまで引き上げられるかをコーチが見据えているかどうか。
- 新規入会の方への説明がフロントで十分できていない(理解不足もある)。
- プレイヤーに何が必要かをしっかり見極められる能力を向上させる必要がある。
- オレンジステージの位置づけがいまひとつ十分に活用されているとは思えない。
- 遊び感覚が強くなり子どもたちがダラダラとしてしまったり指導がおろそかになってきている。

■子どもたちについて

- 子どもたちのレベル差が出やすい。(3)
- 基礎体力や体格、コーディネーション能力の差が顕著に出やすいのでレベルと年齢の差がでやすい。(2)
- クラス分けはレベル差がある子どもたちと一緒にレッスンするのが難しいので年齢ではなくレベル分けが良いと思う。(2)
- 子どもたちに考えさせることで、クラス内でのレベル差が広がってしまう場合もあり逆にテニスがつまらなくなってしまう子どももいる。(2)
- ラリー&ゲームベースに特化しすぎると子どもたちの運動能力に偏りが出る。
- 習い事で来ている子どもや思春期・反抗期でゲームに勝ちたいと思っていない子もいる為クラス内にモチベーションの差が大きく出してしまう。
- 子どもたちが飽きる傾向にあり、時折イエローボールを使用する場合がある。
- イエローボールになったとたんに手首や肘に違和感を訴える子どもが増えたこと。

PLAY&STAYを導入したことにより見えてきた課題・問題点など②

■人数問題について

- 多人数の対応が課題。(8)
- 安全面の確保。(2)
- 運動量・打球数の確保。(2)
- 少人数の小規模スクールは完全に分けられない。
- 土日は人数が多くPLAY&STAYのボールとコートは使用していても以前の(球出しが多い)レッスンになりがち。
- 1クラス・1コーチに対して定員は何人がベストなのか知りたい。

■ドリルについて

- 球出し練習が減る為、ドリルが少ない。(2)
- 1人ずつ全員へタイムリーにアドバイスを提供することが課題。(2)
- 生徒同士のラリーが続かなかったり、生徒同士でラリーさせるとふざけてしまったりする。(2)
- テンポの良いレッスンを心がける。
- 小さい目標、達成感を与えながら上達させる。
- ゲーム性のあるドリル考案。
- 特にグリーンボールは待ち時間が長くなるのでレッスン時間や料金の見直しを検討することも必要になるのではないかな。
- ゲームへ積極的に参加して貰えるレッスン内容が課題。
- 勝ち負けに関わるメニューは、年齢が低いほどうまく対応しないとあの子には勝てないという刷り込みができてしまい逆効果。
- 基本技術の反復練習が不足し、ゲームプレーにおいてその上達に遅延を感じることもある。
- 子どもたち同士のラリーやゲームの時間が取れない場合もあり、従来の指導方法になってしまうことがある。
- 同クラス内でレベル差が生じてしまう場合、ゲームをしてもつながらないことも多い。
- コート面数や同クラス内でもレベル差が生まれてしまうため、ボール出し練習やコーチとのラリーをせざるを得ない状況も多くある。
- 出来るだけ様々な運動を経験させられるような工夫が必要。
- ずっと同じボールを使用するとそのボールに特化した技術になり過ぎてしまう傾向がある。
- 同じクラス内で2種類のボールを使用すると良い効果が出やすいようだ。
- レッドボールではコートがやや狭く感じるようで、打つ時に強弱がつけられずアウトになってしまう子どもがいる。
- 様々な環境(コートの大きさ・ラケット・ボール)で打たせる経験は与えていかなければならない。
- 1面を使用したときに走れない。(ボールに追いつけない)
- 戦術的な要素をレッスンの中で取り入れているコーチが少ない。
- ラリーをメインにレッスンを行うとフォーム作りが出来ず怪我に繋がりがやると感じる。

■大会の必要性

- 大会等の回数を増やしていき、それぞれのカテゴリー内の目標を設定していく必要がある。
- 外部の試合で結果を出すことでテニスの試合に「勝つ」喜びを味わってもらいたい！

PLAY&STAYを導入したことにより見えてきた課題・問題点などー③

■進級について

- ボールをランクアップする(進級する)タイミングが難しい。(2)
- 子どもたちへ成長が分かるもの(点数化できるテスト項目と採点法など)をお渡しできたら進級が問題なく進むので良いと思う。
- 進級スピードとその受け入れ先のクラス数がインドアでは問題・課題となる。
- 次のステップに進むのを嫌がる子がいる。(難しくなるので)
- いつステージアップをするのか?何が出来たらステージアップとなるのか?を全コーチが共有できなければならない。
その為には各ステージで何を身につけさせるか?を明確にし、各段階毎のカリキュラムの統一と指導メソッドをまとめなければならない。

■フォームについて

- しっかり打つとアウトしてしまうため、ラケットに当てるだけのスイングになってしまう。(5)
- スイングを止めてしまう子が多い。
- バランスのよくないフォームで打つ子が増えたが球出しメニューを入れる事で修正ができた。
- 身体を使ってスイングをしてコートにボールを入れるのが難しいようだ。打った爽快感もテニスの楽しみだと思うのだが両立が難しい。
- 半分の時間をスイングをマスターするための時間とし、残り半分でゲーム形式をとっている。
- PLAY&STAYのみではなかなかフォームがきれいにならない。
- ノーグリップ、ノーフォームで育った子はゲームセンスはあるが、フォームに偏りが見られ保護者からフォームの修正を求められる事が多い。

■備品について

- ボールの消耗が激しくコストがかかる。(4)
- 準備や後片付けに手間がかかる。(3)
- ボールの交換時期について検討が必要(空気圧の許容範囲がわかりにくい)。(2)
- ボールの種類が多くコストがかかる。(2)
- 導入時、用具(ボール、ライン、ネット)が必要であること。
- レッドはボールが重くコートが狭すぎる。
- レベルアップの時期に次のボールに合ったラケットへ買い替え促進が必要。

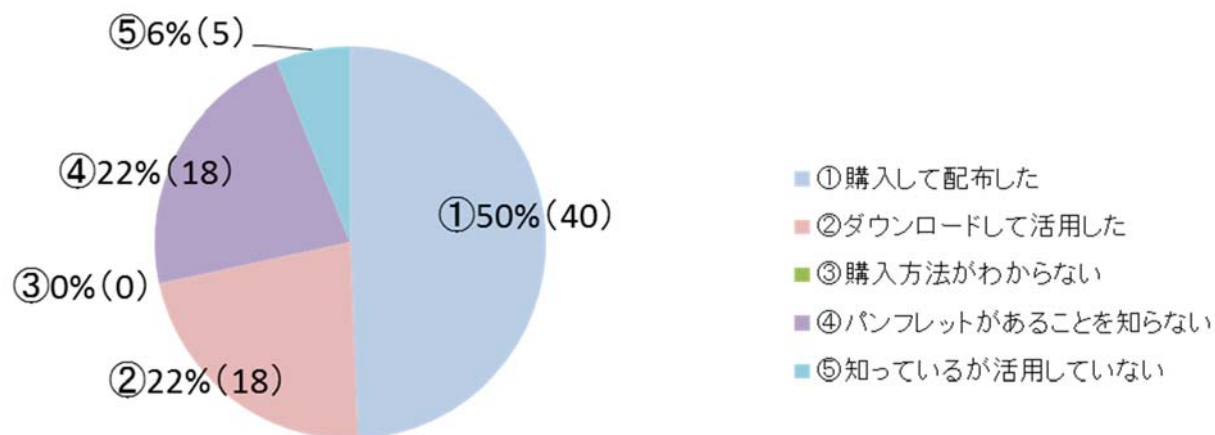
■保護者について

- コーチの関与が少なく見えてしまうため、保護者から指導が少ないという誤解を招く。(4)
- 保護者の理解不足。(2)
- 全スタッフがPLAY+STAY導入の案内をもっと判りやすく、簡単に説明できること。
- PLAY&STAYを理解してもらうため、保護者とのコミュニケーションを密にする必要がある。
- 型にこだわった指導もやらないと、教えていないという印象を持たれるのでバランスに気を遣う。
- ノーグリップ、ノーフォーム導入にはPLAY&STAYの考えを広くお客様へ伝える運動が必要。
- PLAY&STAYを知ってもらえるツール等を掲示したり、コーチが直接話をしたりする機会があった方がよい。



ITF作成JTAが翻訳した、PLAY+STAY保護者向けパンフレットは活用されましたか？

回答事業所数 81箇所 / 133箇所 (全事業所数)



PLAY+STAY導入に関する保護者への説明などについてご記入ください。

- 特に何もしていない。(23)
- 説明会を実施している、または実施した。(4)
- 口頭で説明している。(33)
- PLAY+STAYパンフレットを配布、または施設内に配置している。(15)
- POPを作成し掲示している。(9)
- チラシ等を作成し配布。(13)
- イメージDVDを放映している。(4)
- 体験会を行った。(4)
- 見学会を行った。(2)
- ホームページに掲載。(2)

レッド、オレンジ、グリーンボールの大会開催状況などについてご記入ください。－①

■開催予定・実績なし(18)

■開催予定あり

- レッドボール大会を検討中、または開催予定。(6)
- グリーンボール大会を検討中、または開催予定。(5)
- オレンジボール大会を検討中、または開催予定。(4)
- 検討中。(3)
- 2013年から夏休みと春休みにそれぞれジュニアのチャレンジカップを行う予定。
- 年間、各ボール5回実施予定。
- 2013年末よりオープン大会を予定。

■開催実績

△開催時期別

- GW・春休み・夏休み・冬休み・年末年始など長期休暇中、その他祝日に実施。(10)
- 祝日の早朝を利用。(3)
- 社内のスクール合同トーナメントを夏休みに実施。(2)
- 自営全店対象でグリーンボール大会を夏に実施。
レッドボール・オレンジボールは春・夏・冬休み・GWといった長期休暇に実施。
- 年末に各カテゴリーで大会を行っている。

△頻度別

- 年2回程度各ボールにて実施。(6)
- 定期的にレッドボール・オレンジボール・グリーンボールの大会を実施。(4)
- 年3～4回スクール生のみで開催。(3)
- 年3回レッドボールとグリーンボールの大会を開催。(2)
- 月1回スクール生の試合をグリーンボールで実施。(2)
- 年4回小学生を対象としたグリーンボールの大会を実施。
- 年6回グリーンボール大会を開催。
- 年2回レッドボール、オレンジボールはスクール内の試合、グリーンボールはオープン大会を開催。
- 年2回スクール生でレッドボール大会を実施。
- 年に数回、レッドボール・グリーンボールの大会を開催。
- 定期的に他スクールとのフレンドリーマッチをグリーンボールで開催。
- 月1回スクール生の大会を開催中。

レッド、オレンジ、グリーンボールの大会開催状況などについてご記入ください。ー②

△開催実績具体例

- 2008年から各ステージごとの大会を開催(年6～10回)
2012年からは親子で参加する大会も始めた。
- オレンジボール大会(試合未経験者対象) 過去に2回
グリーンボール大会(試合未経験者対象) 春休み、夏休み 各1回
グリーンボール大会 GW、年末 各1回
- 2012～2013年 オレンジボール大会開催 計5回
グリーンボール大会開催 計2回
- レッドボール大会・グリーンボール大会 ともに過去2回開催。
- 2012年1月・5月 レッドボール、オレンジボール、グリーンボール大会を実施。
2013年1月・5月 //
2013年7月・8月 グリーンボール、イエローボール大会の実施。
- 2012年5月 レッド・オレンジ大会 事業所内開催
2012年7月 全事業所 グリーン大会 開催
2013年1月 レッド・オレンジ大会 事業所内開催
2013年5月 レッド・オレンジ大会 事業所内開催
2013年7月 全事業所 グリーン大会 開催
- 2012年 レッド、オレンジ、グリーンを各1回ずつ実施。
2013年 レッド4回、オレンジ3回、グリーン1回実施。
- 2013年 グリーンボールを使用したスクール内大会を開催。
- 2013年2月実施。
- 2013年3月からスクール内での大会を開催。
- 2013年4月にレッドボールとグリーンボールの大会を開催。
- 2013年7月にスクール内にてレッドボール・グリーンボールの大会を開催。
- 2013年8月グリーンボールのオープン大会を初開催(10才以下・12才以下の部)。



レッド、オレンジ、グリーンボールの大会開催状況などについてご記入ください。－③

△開催方法

- 自事業所単独で開催したり近隣事業所と合同で開催したりする。(2)
- スポーツサンライズ共催の大会を開催。
 - △2013年7月オープンジュニア・ビギナーズジュニアを開催。
 - △ジュニアテニスツアーを年間2回開催。(10才以下はグリーンボール使用)
 - △グリーンボールの大会を4回ほど開催。年内、あと2回予定。
 - △10才以下のグリーンボール大会を開催。
 - △2013年秋にビギナーズジュニアをグリーンボールで開催する予定。

△ボール別

- スクール内でグリーンボールの大会を行っている。(2)
- スクール内でオレンジボールの大会を行っている。
- スクール内で各ボールの試合は行っている。
- 10才以下の初心・初級対象で2～3試合をめどにラウンドロビン方式にてグリーンボール大会を開催。
- レッドボール・オレンジボールは休校日を利用してゲーム練習会を行っている。
グリーンボールは4ゲームマッチの大会をスクール内で2回開催。
- レッドボール・オレンジボールは少人数で開催。(レッスンとゲーム大会のようなイベント)
グリーンボールはハッピーマンデーに開催中。
- オレンジボール大会を1度開催。
- 2012年は20名以上集めオレンジボール・グリーンボール大会を行った。
現在はレッスンがない時間帯に少人数を集め大会を行っている。チャレンジツアーと名をつけポイントをためランキングをつけている。

△集客状況やお客様・スタッフの意見

- レッドボール、オレンジボールに関しては比較的集客が出来ているが、グリーンボールで集客に苦戦している。
- 8名の募集で6点先取の1時間程度で終わる大会をレッド、オレンジ、グリーンと各4回ほど行っているが、集客率は9割以上でほぼキャンセル待ちがでるような状況で大変好評。
- オレンジボールのスクール内大会は募集後、早い段階で定員になってしまう。
- 申込状況は平均で8割ほど埋まる。
- グリーンボールでの集客は徐々に伸びてきたがオレンジボールでの試合参加への意識がまだまだ低い。
コーチ自身がオレンジ、レッドボールでの試合という意識が低い現れだと思う。
- 日頃からの啓蒙が足りないのか集客状況は良いとは言えないが、定期的に行っている子はテニスに対するモチベーションは確実に上がっており、大会は引き続き定期的で開催する予定。
- 定員10名程度で告知後、すぐに満員。
- ほぼ定員がいっぱいになる。
- オレンジステージのコートを作成するのがカーペットではかなり面倒。
- 定員12名に対し6名とまだ意識が試合をするレベルになっていない子が多いと感じる。
- 何度か開催しているが、集客に苦戦する事が多い。
- 週1回の子どもたちが試合に出る！というところまでの意欲になかなかもっていけない。

PLAY+STAY導入後の子どもたちの反応はいかがですか？

- ラリーが続くようになり楽しそうにテニスをするようになった。(35)
 - ラリーが続くようになりテニスに対するモチベーションが上がった子どもが多い。(26)
(ラリーをもっとつなげたい！ゲームで勝ちたい！等)
 - ラリー、ゲームを楽しく取り組めるようになっている。(14)
 - 特に初めての子どもたちがすぐにラリーやゲームができるため楽しめている。(8)
 - ラリーがつながるようになった。(7)
 - ラリーが続かなくてもそれぞれが工夫してチャレンジする場面が増えた。(4)
 - 当初は質問に答えられず黙り込む子が多かったが、現在では自分で考え答えてくる子が多くなり活発に感じられる。(4)
 - ネットプレーを使う子どもが増えた。(4)
 - 上達がはやい。(3)
 - レッスン内の戦術的な説明も理解してもらえるようになった。(3)
 - 以前よりすぐにゲームをやりたがる。(3)
 - 自分たちで考えてゲームが出来る子どもたちが増えた。(2)
 - 子どもたちの笑顔や大声が増えた。(2)
 - 以前よりも、喜怒哀楽が出るようになった。(2)
 - 子どもたちのゲーム・戦術に対する理解が早いと思う。(2)
 - ゲームに繋がる内容を練習することで真剣に取り組むようになった。(2)
 - 作戦を考えたり色々自分で考える力が芽生えてきた。(2)
 - 常に動きのある内容にしたことで運動量も確保でき楽しそうだ。(2)
 - ネットプレーやサービス、リターンからのゲーム展開もできるようになりゲームの楽しさを感じているように思う。(2)
 - 子どもたちのプレイが積極的になった。(2)
 - 試合にも積極的に参加するようになった。(2)
 - ラリーが出来なくても打つことそのものを楽しんでいるように見える。
 - レッド・オレンジ・グリーンへのレベルアップが楽しいみたいだ。
 - 子どもたち同士のゲームの中で駆け引きを楽しむようになった。
 - サーブを嫌がる風潮が減少した。
 - ルールを覚えることが早くなり、勝つために工夫をする姿を多く見ることができる。
 - 考え方が戦略的になった。
 - 時間が早く感じる子が増えた。
 - あきらめなくなった。
 - 動きが機敏になった。
-
- 特に変わりなし(6)
 - 当初はレベルが下がったように思われる事もあった。(つまらない・物足りない等)(2)
 - ボールやラケットのサイズダウンを嫌がる子どももいた。

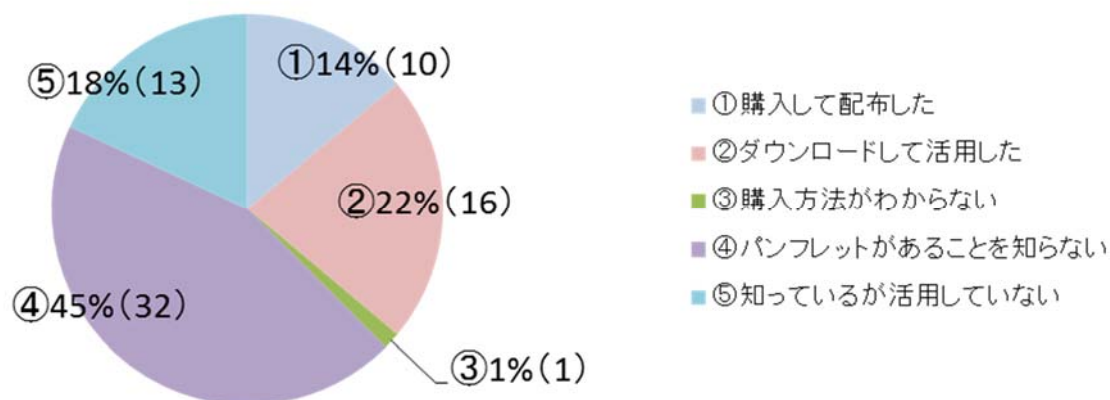
PLAY+STAY導入後の保護者の反応はいかがですか？

- 問題・クレームなし。(36)
 - イエローボールに比べラリーが続くので、保護者もうれしい子どもも楽しそうにプレーしているのが良いと好評。(14)
 - 保護者に好評。(7)
 - 子どものラリーやゲームが出来るまでの早さに驚いている。(5)
 - 非常に様々といった印象。
 - 導入当時のご意見を頂いたが、最近は概ね好評の声を頂戴している。(6)
 - ボールを購入したい、もしくは購入したと言う方がいる。(3)
 - 子どもがテニスを大好きになって毎回のレッスンを楽しみにしているとの声を頂いた。(2)
 - ボールの説明をするとなるほどという反応が多かった。(2)
 - 「初めてやらせたのに出来た！」と喜んでいた。(2)
 - イベント(親子テニス)に参加したり、お子さんとテニスする保護者の方が増えた。(2)
 - そこまで変化を気にしない方が大多数という印象。
 - 子どもが家でテニスの会話をすることが増えたという意見を頂いた。
 - 以前のレッスンよりも子どもたちが活動的で、楽しそうだという意見を頂いた。
 - 以前よく頂いたうちの子どもはボールが当たらない、飛ばないという意見は無くなっている。
 - 当初、打ち方に関する指導で引かかる保護者もいたが、常に動きのあるレッスン内容で子どもたちが今まで以上に楽しそうな姿やラリーや試合においてただボールを打ち合うだけでなく、戦術的になってきたなどの変化が見られると今は納得している。
 - 少し上達すると次のボールを希望する方が多い。次のステップに進むには身体的な成長も必要だと説明し納得してもらった。
 - 親子でテニスをした時ラリーが続くようになったし、試合ができるようになった等の声をよく聞く。
 - 子どもの体力が向上、走るのが速くなった、身体が丈夫になった等の声を頂いた。
 - 子どものモチベーションがあがった為、保護者のモチベーションも上がり、イベント参加やクラスを週2にするなど積極的になってきている。
-
- スイングやフォームを教えてほしいという方がいる。(10)
 - コーチが何もしない、教えないという意見もあるがコーチがきちんと説明、訓練することで保護者からの反応もよくなった。(6)
 - イエローボールにこだわる意見もあり、説明してもダメで他スクールに転校された方もいる。(5)
 - 保護者からの理解が得にくい。(教えてくれないという声があがる)(3)
 - まだまだ理解がされていない場合も多く賛否両論。(3)
 - ショット指導をもっと欲しい、打球数を確保して欲しい等の意見もある。(2)
 - しっかり打てない子どもに対して不安視する保護者もいる。

PLAY+STAY導入後のスタッフ(コーチ・フロント)の反応はいかがですか？

- コーチは実際に手ごたえをつかんでいる様子で良い反応をしている。(23)
- コーチは素直に受け入れ、理解し取り組んでいる。(15)
- ラリーが続いて良い。(12)
- PLAY+STAYに沿ったメニューの開発を行うなど工夫している。(11)
- コーチは声の掛け方、ドリル、レッスン構成、時間配分などについてとまどっている。(11)
- 特になし。(8)
- コーチは理解するのにかなりの勉強・研修が必要。(7)
- ベテランコーチはやや受け入れに苦戦をしているように感じる。(6)
- フロントの理解度は浅い。(6)
- 受け入れる気のないコーチもいる。(5)
- フロントには保護者からの質問に対応出来るようにしてもらっている。(4)
- コーチも楽しんでレッスンに取り組んでいる。(4)
- コーチはどうしても教えたくなるようだ。(4)
- アルバイトスタッフは混乱していた。(3)
- クラス内でレベル差が大きい場合のバランスが難しい。(3)
- 技術的、戦術的な事へ発展していく時のコーチの伝え方、興味のひきつけ方が問われてくると感じる。(2)
- バウンドのイメージを掴ませやすくなった。(2)
- 導入がスムーズになった。(2)
- フロントにPLAY+STAYを体験してもらうことで、新規入会者に積極的に説明してくれるようになった。(2)
- コーチにとってジュニアクラスの難易度が上がった。(2)
- 説明の時間を減らすようにし、真似したり自分で考えさせているのでボーっと立っている子やおしゃべりが減り、ボールを追いかけている姿が多くなったと感じる。(2)
- フロントからはPLAY+STAYのパンフレットが出来たことにより説明がしやすくなったと聞いている。
- フロントはボールや道具の区切りがあるので説明がしやすくなったとの意見がある。
- ラリーやゲームが子どもたちには楽しいと感じるのだと再確認できた。
- スクールとして共有する部分、統一するレッスン内容などもっと研修する必要があるように感じる。
- 出来ないことによる劣等感が出にくいので途中で挫折する子が少なくなったのではないかと思う。
- 子どもの笑顔が増えたと思う。
- スポンジからオレンジより、レッドからオレンジの方が移行しやすくなった。
- スタッフがテニスの本質を考えるようになった。
- 始めは上手くレッスンができなかったことや、ゲームを多くやる事で勝ち負けに対する配慮が足りなかつたりしての退会があったが、最近では体験されにくるジュニアの入会率が上がったと感じる。
- せまいスペースを有効に利用するには好評である。
- 特に振り返りもなく漠然としたPLAY+STAYになっていると危機感を感じている。
- どの子どもにどのステージでテニスをやらせたらいいのかスタート時の判別が大変。
- レッドボールが重くて使いづらい(子どもの打つボールが飛ばない)。
- レッド→オレンジ→グリーンの移行に関して時折とまどいを感じる。

ITF作成JTAが翻訳した、「Tennis Xpress」パンフレットは活用されましたか？



「Tennis Xpress」についての導入状況・予定など、ご意見なども含めご自由にご記入ください。ー①

■導入状況

- 大人初級クラスで導入している。(3人)
- 大人初心者クラスで導入している。(11人)
- 高齢者クラスで導入している。(3人)
- 未導入だが、初心者クラス・初級クラスでは早い段階でラリーを楽しむ為にボールを変えてレッスンを行ったりしている。(20人)
- ボールは大人のクラスでも利用している。(3人)
- 上級クラスでも意図した戦術やフォーメーション練習、技術の習得のために使用する場合がある。(3人)
- 社員コーチが初級、初中級クラスで試みているが具体的に統一して実施できる形が出来上がっていない。

■予定

- 導入予定あり。(3人)
- 導入予定なし。(9人)
- 導入は未定。(7人)
- 未導入だが今後検討していきたいと思っている。(4人)
- 初心者・初級者向けクラスでの導入を検討中。(4人)
- 高齢者クラスに導入を検討している。(3人)
- 初心者・初級者に向けたグリーンボール大会を企画中。(2人)

「Tennis Xpress」についての導入状況・予定など、ご意見なども含めご自由にご記入ください。－②

■意見

- 初心者クラスなどではラリーが繋がる、ゲームが楽しめるなどプラスの要素が大きい。(7)
 - 今後日本は高齢化になってくるので大切(有効)だと思う。(3)
 - 初めて知った。(2)
 - 初心者・初級者の方には好評で上達も早く感じる。(2)
 - 内容を認識している程度。
 - 1つ上のレベルのプレーが楽しめる、わかりやすいということが大きい。
 - もっと上級者でも取り入れて欲しい。
 - テニス全体を簡単に体験できて良い。
 - Tennis Xpressという統一規格が発信されるのはとても良いことだと思う。
 - スクールにとっても初心者層の充実と継続につながるのではないと思う。
 - 以前は進級がなかなかできず、尚かつ進級してもラリーに不慣れなため上手く対応できないということが多かった。しかし現在は進級もスムーズに行え、ラリーに慣れているので返球力、対応力が身に付いており進級後に長期欠席される方が減った。
 - 人数やレベル・年齢に応じてコーチが使用ボールをアレンジして出来るようになると良い。
 - ラリー・ゲームだけではなく球出し・フォーム形成もうまく取り入れることが重要だと思う。
 - ロープレッシャーのボールに拒否反応を見せる方もいるがラリーが続くことは間違いないので、丁寧に説明をして対応している。
 - 目的意識がはっきりするので初級・上級こだわらず大人の方でも楽しめる。
 - 上達の近道だと思う。
 - コーチがいかに必要性を説けるかが重要だと思う。
 - 大きな期待をしている。
 - Tennis Xpressの情報が乏しく講習会やイベント等で勉強し導入を目指したい。
 - 大人の場合はスクールに通う目的の中に「指導されたい」という欲求も含まれるため、ティーチングの要素も多めに含むよう意識している。
 - レジャーとしての導入も可能だと思う。
 - リゾート地などで貸しコートをしている施設などに営業してもいいのでは？簡単なので誰でも貸しコートでプレイしやすいと思う。
-
- オリジナルのEZ Tennis(イージーテニス)を開講している。(3)
 - 子どもの様なニーズは感じられない。(2)
 - 大人のクラスでも導入しているが反応に個人差が大きく、経験者ほど拒否反応を示す傾向が強いと感じる。(2)
 - 大人はやりたがらない。(2)
 - 今までのテニススクールで培ったノウハウを活かし、それをベースにレッスンを構築したほうが良いと考えている。
 - 今の指導法で特に問題を感じていないのでTennis Xpressに特化する必要はないと考えている。
 - コーチの知識や経験も必要で、それなりのコーチじゃないと出来ない。
 - 大人のクラスでもボールを使用すると減りが激しい。
 - Tennis Xpressはシングルスゲームの習得があるがシングルスはあまり実施していない。